# 「個人の問題」を「社会の問題」へ

―単元「見た目は個人の問題か」の開発・実践を通して―

広島大学·院生/高校非常勤講師 久保美奈

# 1. 自己紹介

くぼ はるな

## 久保 美奈

- ・ 広島大学・大学院生(博士課程後期2年) ←院生生活は4年目を迎えます
- ・ 学部時代は文学部(歴史学)→大学院から教育学(社会科教育学)
- ・ 高校非常勤講師:現代社会 ←2年目です
- ・ ASDとADHD(院生1年目に診断)
- ・ 趣味はアニメや漫画を見たり描いたり、ゲームをしたり(徹底的なインドア)

好きなアニメは2~30回見るのは当たり前,1週間同じ曲を聴き続けたり…,

かと思えば急に興味を無くしたり…



↑川口先生へ送らせて頂いた絵

## ■なんとなく生きづらさを感じ続けてきた小中高時代

直球の言葉で友人関係をことごとくブレイク,学校のルール至上主義 無視,仲間外れ,いじめも(ただし大体気づいてない)

## ■もしかして…発達障害?と気づき始めたのは学部での介護等体験

自分は人として「欠陥」があるのか、というショック 塾のバイトで出会う勉強につまづく子どもたち

この子たちに「欠陥」があるわけない その勉強、ほんとに必要?

## ■自己肯定と障害受容を支えた「社会モデル」の考え方

2週間に1度,4時間もかけて対話と言葉探しをしてくださったゼミの存在(「社会モデル」の発見)

「普通にならないといけない」から「このままで良い、このままこそ良い」へ

自分で自分を苦しめる子どもたちを助けたい、自分を欠陥だと思わせる社会を変えたい

## 研究テーマ:「社会科でいかに障害を解消するか」

2. これまでの社会科における インクルーシブ教育の問題 レ

本発表の目的

社会科におけるインクルーシブ教育実践と言えば…

## 社会科授業のユニバーサルデザイン化の試み

村田(2013), 伊藤·峯(2016), 村田·社会科授業UD研究会(2019)

授業の方法に注目するものばかりで、

授業の目標・内容から

「障害そのものを批判的に捉えなおす」実践は無かった

※国籍,人種,ジェンダーは少しある(森茂・川崎・桐谷・青木,2019など)

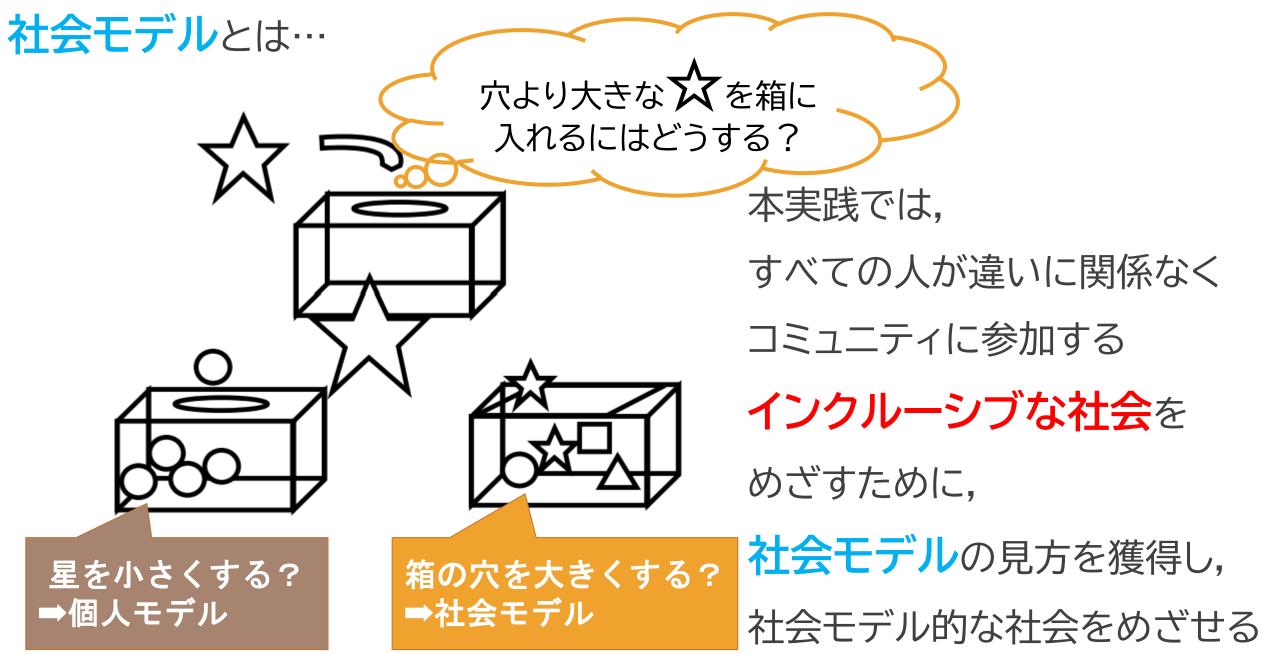
本発表では,

障害を**「個人の問題」→「社会の問題」**と捉えるための視点を 育成するために

- ①直感的に「個人の問題」とされやすい事例を取り上げ、
- ②「個人」と「社会」の両方の視点で捉えなおし、
- ③「社会の問題」として捉える意義を考えられる



力を育成する授業を開発・実践したことを 共有しようと思います

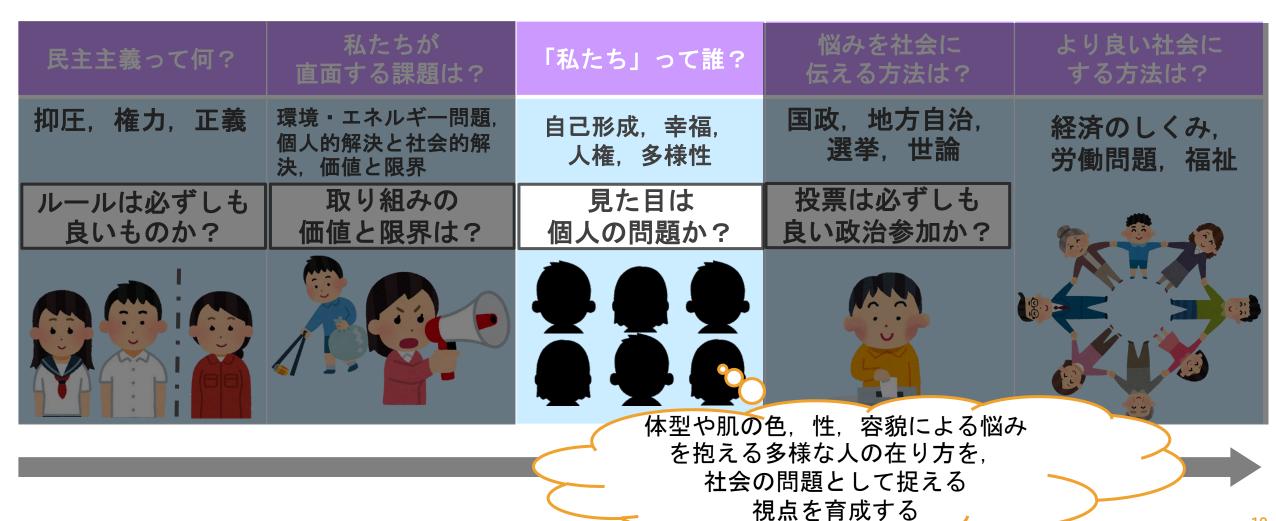


力を育成することを重視。

## 3. 実践の文脈

## ■本単元の位置づけ

#### 本単元はココ



## 【実践のポイント】

①社会モデルの視点を用いて探究的な分析を行う。

②高校生である学習者が敏感になりやすい「見た目問題」を扱う。 この問題は、個人の問題とされやすく、障害、美容、人種、セクシュアリティなど も関係しており、より多くの学習者を揺さぶることができる。

③教師は子どもたちに障害があることを伝えている。

④空間づくりの面では、本授業での問いに正しい答えや間違った答えはないこと、 学習者に合わせて授業環境を常に作り変えること、人を排除するような言動を禁止 するを確認している。

# 4. 単元「見た目は個人の問題か」

## ■本単元の構成…約6時間

	探究の導入	活動1:見た目問題は「何が問題か」を考えさせることで、 <b>学習者がどのような認識を持っているのか</b> 自覚する。			
	個人モデルと 社会モデルの 視点の獲得	活動2:見た目問題を解消する事例を探究し,青年期によるアイデンティティ形成 と文化の関係性を理解する。			
		活動3:日本国憲法が保障している権利や社会契約説の考え方を調べることで,個人の幸福の追求が社会的に保障されていることを理解する。			
		活動4: 当事者が個人モデル的に問題を捉えたり、社会モデル的に問題を捉えたり している事例を分析することで、同じ見た目問題だとしても事例により問題の所 在や解消の方法が異なることを理解する。			
	個人モデルの 限界と 社会モデルの 価値の検討	活動5:個人の問題とすると抑圧が非常に強まる事例について,個人モデル,社会 モデルの両視点から分析し,どうすればよりよい社会を形成できるか考える。			
	終結	活動 6:個人の問題にされやすい問題を社会の問題として捉え解消を試みる事例を 分析することで、社会モデルの実現可能性について考える。			

## 個人モデルと社会モデルの 視点の獲得

## 個人モデルの限界と社会モデル の価値の検討

終結

#### 活動1

動画の女の子たちは「見た目」について悩んでいます。 女の子たちが抱える悩みは、いったい何が問題なのか、あなたの意覚を書きなさい。

VOGUE JAPAN (2018) 「6歳から18歳の少女たちが、自分の体型について思うこと」<a href="https://www.youtube.com/watch?v=pM55IBqV-X8&list=WL&index=69&t=92s">https://www.youtube.com/watch?v=pM55IBqV-X8&list=WL&index=69&t=92s</a> (2021年5月29日閲覧)

見た目問題は「何が問題か」を考えさせることで,学習者がどのような認識を持っているのか自覚する。

#### 活動4 問題はどこにある?

- 1. 「見た目」に悩むキムさん、デイビッドさん、メルさんとピーティさん、稍柔さんが、それぞれ**どこに問題があると考えているか**書きましょう。
- 2. 4 人の問題は、次の表のどこに位置づくと思いますか?番号を使って答えなさい。

#### 問題の所在は…

	物	心
個人	①個人の身体	②個人の精神
社会	③社会の制度	④社会の文化, 偏見

にある

当事者が個人モデル的に問題を捉えたり、社会モデル的に問題を捉えたりしている事例を分析することで、同じ見た目問題だとしても事例により問題の所在や解消の方法が異なることを理解する。

顔のニキビが悩みだったが、化粧をすることで自信を持つことができるようになり、男性の化粧がもっと受け入れられるようyoutubeで発信するようになった男性。

幼い頃から日本で差別されてきたが、ガーナに訪れたことをきっかけに、国籍に縛られない関係を大切にすることが重要だと考えるようになったガーナ人と日本人のハーフの方。

性自認は男性だが、女性として扱われたり、奇妙な目で見られたりすることに悩むトランスジェンダーの2人。男女にとらわれない名前の呼び方、性の在り方を主張する。

円形脱毛症で髪がすべて抜け、カツラを着用していたが、現在はカツラを使わず生活する女性。「円形脱毛症を考える会」の副会長で、女性の禿げる権利を主張する。

## 個人モデルと社会モデルの 視点の獲得

## 個人モデルの限界と社会モデル の価値の検討

終結

#### 活動5

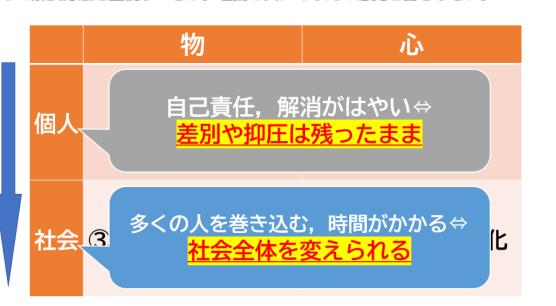
川添さんの悩みの問題はどこにあるか?①~④の視点からそれぞれ答えなさい。



2. 川添さんは悩みをどのように解消しようとしているか。 ①~④の視点からそれぞれ答えなさい。

個人の問題とすると抑圧が非常に強まる事例について,個人モデル,社会モデルの両視点から分析し, どうすればよりよい社会を形成できるか考える。 顔に病気を抱え,日常生活ではマスクが欠かせない。 一人芝居を通し,世間の目を変えようとする。

3. 見た目問題について、いろんな人がより良く生きるためには<u>「個人」と「社会」</u> のどちらの解決方法を重視すべきか。理由と共にあなたの意見を書きなさい。



## 個人モデルと社会モデルの 視点の獲得

#### 活動6

1. 見た目問題を社会的に解決しようとする例を見て、どのように解決しようとしてい

スが説明しかさい

「美しくならなきゃだめ!」

という<u>文化や偏見</u>に対し…

「ありのままの美しさ」につい てyoutubeで発信する

めりのまま 衝表しいわ

「痩せていないとだめ!」

という **文化や偏見**に対し…

多様な体型のモデルを 積極的に用いる 「見た目の違いで就職が制限される」

「いう社会の制度に対し…

性別や写真が不要な履歴書を
つくる

「見た目の違いで使うトイレが

制限される」という<u>社会の制度</u>に対し…

性別に囚われず利用可能なオール ジェンダートイレを設置する

個人の問題にされやすい問題を社会の問題として捉え

解消を試みる事例を分析することで、社会モデルの実現可能性について考える。

## ■リフレクションシートにみる生徒の学び

#### 社会科リフレクションシート

( )組( )番	名前(	)
コメントの例 ※返事が確実に欲し	い場合には、「返事をください・コメント希望」などと書いておいてく	ださい。
①今日の授業で重要だと思うこと	と ②覚えておきたいこと ③気づいたこと考えたこと	
④難しかったこと ⑤授業でやっ	ってほしいこと ⑥授業以外の相談事 ⑦その他・自由に	
月日()コン	メント記入欄(3 行書く・字数不問) 先生のチェッ	ック

- ・授業が終わる5分前に毎時間書いてもらう社会科リフレクションシート
- ・成績には入らない
- ・授業で学んだことや思ったこと, 日 常のちょっとした悩み, 趣味などにつ いて書かれることが多い
- ・全体で共有すべきと判断したもの は, 授業の初めにスライドで共有

# 5. おわりに

## 本単元の課題

■本単元では問題を社会化する視点の獲得はある程度できたが、 ではどう社会を作りなおしていくかといった、具体的な展望を 検討することができていないため、 ただただ問題を大きくしただけになり、

## 社会に対して諦観的な姿勢になってしまう危険性

⇒変革の主体の育成を目指すためには、今後、具体的な行動づくりができるような単元の開発も必要

## 文献

- ・伊藤敏雄・峯明秀(2016)『社会科授業の理論と実践─ユニバーサルデザインによる授業づくり』あいり出版
- Kenji Kuno (2012) Doing Disability Equality Training: A Handbook for Trainers, MPH.
- ・ 久野研二(2018) 『社会の障害をみつけよう』現代書館
- ・児玉修(2012) 「社会科と民主主義」, 社会認識教育学会 (編) 『社会科教育学ハンドブック』明治図書
- ・村田辰明(2013)『社会科授業のユニバーサルデザイン』東 洋館出版社
- ・村田辰明・社会科授業UD研究会(2019) 『社会科授業のユニバーサルデザイン 展開と技法』東洋館出版社
- Liz Carr, Paul Darke & Kenji Kuno (2012) *Disability Equality Training: Action for Change, edited*, MPH.

# 授業に用いた資料

- ・ VOGUE JAPAN(2018)「6歳から18歳の少女たちが、自分の体型について思うこと」 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=pM55IBqV-X8&list=WL&index=69&t=92s">https://www.youtube.com/watch?v=pM55IBqV-X8&list=WL&index=69&t=92s</a> (2021年6月8日閲覧)
- BBC(2018)「韓国は男性にとっても美容大国 男性も化粧を」
   https://www.youtube.com/watch?v=dxkKZLan9tg(2021年6月8日閲覧)
- 西倉めぐみ、高木ララ監督『ハーフ』、2013年
- ・ リース・エルンスト監督『ディス・イズ・ミー』, 2016年
- ・ 吉村さやか「『女性に髪の毛がないこと」とは、どのような「障害」なのか」、榊原賢二郎編『障害社会学という視座』、2019年
- ・ NHK(2018)「"生きづらさ"『見た目問題』を抱える女性が演劇に挑戦する理由』」 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=-lrgY0zkGYM&t=146s">https://www.youtube.com/watch?v=-lrgY0zkGYM&t=146s</a>(2021年6月8日閲覧)
- VOGUE JAPAN(2018)「6歳から18歳の少女たちが考える,本当の美しさ。」
   <a href="https://www.youtube.com/watch?v=uf7ayfyGAxA&t=10s">https://www.youtube.com/watch?v=uf7ayfyGAxA&t=10s</a> (2021年6月8日閲覧)
- TBS NEWS(2021)「広がる『ボディポジティブ』とは?」
   <a href="https://www.youtube.com/watch?v=zXzjq5bQaJk">https://www.youtube.com/watch?v=zXzjq5bQaJk</a> (2021年6月8日閲覧)
- TBS NEWS(2020)「履歴書から性別が消える?」
   <a href="https://www.youtube.com/watch?v=Q8xLxYiotTU">https://www.youtube.com/watch?v=Q8xLxYiotTU</a> (2021年6月8日閲覧)
- BuzzFeed(2021)「男性鹿使えないのでは?国際基督教大学が「オールジェンダートイレ」に男性用小便器を設置した理由<u>https://www.buzzfeed.com/jp/erinakamura1/allgendertoilet2</u> (2021年6月8日閲覧)